

制作・事業

■ 朗読劇『ジェンダーに敏感な視点で日常を見る Part2 ～結婚・自治会デビュー編～』制作

第4期が作成し、第5期がワークショップ向けパフォーマンス用に編集した、女子の出生から新社会人となるまでの期間に直面する様々なジェンダーギャップに気付いてもらう物語『ジェンダーに敏感な視点で日常を見る』の結婚後を描く続編を作成し、ジェンダーギャップに関する気づきを人々に得てもらおう出前講座ができるようにしました。以下は第6期で制作した結婚・自治会デビュー編の物語です。

(語り) 甲府市East地区で生まれ育った「東あずま」という女の子がいました。
あずまちゃんは両親・祖父母の愛情を受けてスクスク育ち、成人して〇×商事という会社へ就職、入社から5年して同じ商品開発部の先輩「西たすく」と結婚することになりました。さあ～これから、あずまちゃんの生活が変化する中でどんな出来事に遭遇するのでしょうか。

「ジェンダーに敏感な視点で 日常をみる」

～PART 2～

(物語・続あずまちゃん・結婚～自治会編)

甲府市男女共同参画推進委員会

【シーン1 結婚報告】

(語り) あずまちゃんと西さんは、会社の上司や同僚へ結婚することを伝えました。

(課長) おめでとう! そうか、あずまちゃんはもうすぐ寿退社か。

(あずま) 寿退社ってなんですか?

(課長) 知らないのかい? 女性は結婚したら退職して家庭にはいることだよ。

(あずま) ええ～? 私は結婚してからも旧姓のままでバリバリ働きますよ!

(課長) 珍しいことをするね。まあ、そこは君の自由さ。でも、部署は変わってもらうよ。これは決まりだからね。

(Cさん) 部長、そんな決まりがあるんですか?

(部長) 夫婦で同じ部署にいと何かと問題が起きるものでね。

(課長) 外回りを希望していたし、営業部はどうだい?

(あずま) 私は商品開発部で頑張りたいです。なんとかなりませんか?

(部長) すまないが、ここは諦めてもらうしかないな…。

(西) 待ってください! 僕が異動してもいいんですよね?

(課長) おいおい、男の君が動くことはないだろう。

(西) 前から営業をやりたいと思っていました。お願いします!

(語り) 西さんは営業部へ異動し、あずまちゃんはそのまま商品開発部に残りました。



【シーン2 残業】

- (語り) 西さんの異動した後、大型事業が舞い込み、商品開発部はさあ大変！
- (B君) ああ～今日も終わらないな～
- (課長) 口はいいから手を動かさなさい、帰りが遅くなるだけだぞ。おっと、もうこんな時間か。女性陣は帰りなさい、残りは男性陣でやるぞ！！
- (あずま) あ、私はもう少し・・・。
- (Cさん) あずまちゃん、帰りましょう。お先に失礼します。
- (語り) 納得いかないあずまちゃんは、Cさんに引っ張られる様にして職場を後にしました。



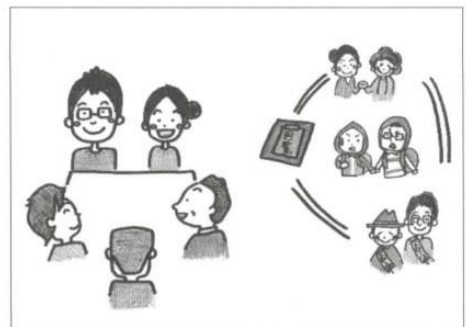
【シーン3 Cさんの告白】

- (語り) その日の帰り道、Cさんから予想もしなかった話を告白されました。
- (あずま) 心配してくれるのは有難いんだけど、私も同じ時間まで働きたかったなあ。
- (Cさん) ダメよ、あずまちゃん。ワークライフバランスを大切にしないと。
- (あずま) そっかー、ついつい全力投球したくなっちゃうのよね。
- (Cさん) ちゃんと計画的に考えた方がいいわよ。実はね、ごによごによ…。
- (あずま) えーっ!? Cさん、△商事に転職するの!?
- (語り) Cさんは、結婚を期に〇×商事を退職し、子育てサポートを積極的に推進する「くるみん認定」を受けている△商事へ転職するそうです。
- (あずま) うちの会社だって育休の制度はあるし、何も転職までしなくても…。
- (Cさん) 休暇の制度があるだけじゃダメなのよ。あずまちゃん、今の職場を見て「休んで大丈夫」って思える?
- (あずま) うっ、それは…。
- (Cさん) 私は2人以上子どもが欲しいけど、以前先輩が1人目の育休で同僚に負担をかけて2人目を諦めちゃったのよ
- (あずま) 二人目か…考えたことなかったわ。
- (Cさん) 子育て環境は整っていた方がいいわ、あずまちゃんも△商事受けてみない?
- (あずま) 私は〇×商事で頑張るわ。
- (Cさん) 別々の会社になっちゃうけど、お互い頑張ろうね!
- (語り) それから3カ月後、Cさんは退職し、あずまちゃんと西さんは結婚式を挙げました。



【シーン4 自治会デビュー】

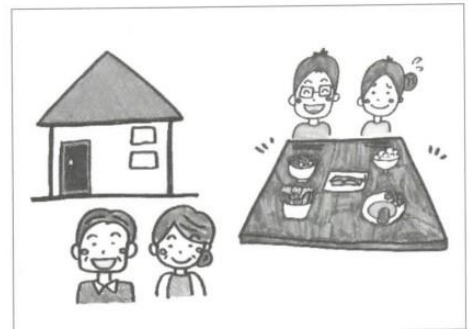
- (語り) 新居での生活が始まり、早速2人でご近所へあいさつ回りをすると、数日後、組長さんに組長会議へ招かれました。
- (組長8) 紹介するよ、今度うちの組に引っ越してきた新婚さんだ。
- (あずま) 皆さん、はじめまして。西あずまです!



- (西) 私は西たすくと申します。どうぞよろしくお願ひいたします。
- (組長1) へえ、優しい旦那さんだね。
- (あずま) あれ? (キョロキョロする)
- (組長8) ん? どうした 奥さん? キョロキョロして。
- (あずま) あ、女性の方がいらっしやらないので。
- (組長1) 今日は組長会議だからいないだけで、役員会議には女性部も出て来るよ。
- (あずま) 女性は組長になれないのですか?
- (組長1) いや、なれるよ。でも旦那がいる家の奥さんはまず出てこないね。
- (組長2) 男性社会なんですかねえ。。。。
- (組長1) ともあれ、若いご夫婦が自治会に参加してくれて助かるよ。最近は入らない人も多くて、本当に困るよ。災害の時なんて、年寄りばかりじゃどうしようもない。
- (組長8) いざというときには頼りにしているよ。
- (あずま) 若者だって自治会の助けは絶対必要ですよ!
- (西) 困った時はお互い様、ですよ。

【シーン5 姑の心配】

- (語り) あずまちゃんも、西さんも、毎晩遅くまで働いている事を見かねて、姑から夕食をごちそうすると言われ、西さんの実家へやってきました。たくさんの手作りのおかずを前に喜ぶ西さんとちょっと複雑なあずまちゃんです。
- (西家母) 2人とも、仕事が忙しいのは分かるけど、家事もきちんとできないのに共働きなんてできるの? 家事だって分担制でやるって言ってたじゃない。インスタント食品やコンビニ弁当ばかり食べているんじゃない? 仕事も家庭もなんてとてもできないわよ。今後出産の事とかもちゃんと考えないとね。
- (西家父) まあ、先々の事とはいえ、子育てがおろそかにならないように。
- (あずま) 同じ共働きの同僚も仕事と生活のバランスが大切だって教えてくれました。
- (西) お母さん、お父さん、ありがとう。あずまとよく考えてみるよ。
- (語り) 西家のお母さんが作ったお料理は子どもたちを想う優しい味でした。



【シーン6 姑の変化】

- (語り) あずまちゃんと西さんが帰宅した後も、お母さんは2人が心配でなりません。
- (西家母) こんなことで大丈夫かしら、あの子達が思い描いている家庭が想像できなくて、とても不安だわ。
- (西家父) 最近は男女の役割を分けない家庭が増えてきているそうだし、やってみたら案外うまくいくものかもしれないぞ。試しにうちでも何かやってみるか?
- (西家母) なにをやるっていうの?
- (西家父) いやなに、そんな大したことをしなくてもいいんだよ、朝起きて私が新聞を読んでいる間にいつもお母さんがお茶を入れてくれるだろう? 私がお茶を入れるから、お母さんが先に新聞を読むというのはどうだい?



- (語り) 次の朝、お母さんはそわそわしながら新聞を読み始めました。お父さんは張り切ってお茶を入れました。
- (西家母) 入れて貰ったお茶はおいしいわね。
- (西家父) お茶を入れるのも案外難しいものなんだね。交換してみてもどう思う？
- (西家母) 少しだけ、あの子達が思い描いている家庭が分かった気がするわ。

【シーン7 自治会役員へ】

- (語り) 忙しい中でも積極的に自治会活動に参加するあずまちゃんと西さんは、役員交代が近付いてくると、次期役員として期待されるようになりました。
- (防災部長) 西さん、来期に防災部長をやってくれませんか。
- (体育部長) いやいや、それより、体育部長をやってくれよ。
- (防災部長) 体育部長は大変だぞ、土日はほとんどつぶれるとおもった方がいい。
- (西) すみません、防災はいざという時にいない可能性が高いですし、土日はたまにしか休みがないので体育部長もむずかしいですね。
- (女性部員) ねえ、あずまちゃん。女性部長をやってくれないかしら。今の部長はご高齢だから、代わってくれる人を探しているのよ。若い人がやってくれた方が盛り上がると思うわ。
- (防災部長) おいおい、調理チームを仕切るんだぞ。女性部員が納得するほど料理に自信があるかい？
- (あずま) あ〜、料理は苦手です…でもスポーツなら自信があるので、体育部長はやってみたいです。
- (体育部長) 若い娘の体育部長、最高だね!!
- (西) 女性部長の役割は、行事に必要な料理の準備を仕切ることでいいですか？実は私、調理師免許を持っているので、その役なら私ができるかもしれません。
- (体育部長) 男の女性部長！ その発想はなかったわい！
- (女性部員) イケメン女性部長、素敵！でも女性部に男性は入れたかしら？
- (防災部長) 確かそんな規約はなかったはずだが…
- (体育部長) だったらいいんじゃないか？
- (女性部員) 是非、よろしくお願いします！
- (西) 私であれば、頑張ります。
- (体育部長) あずまちゃんも是非、頼むよ!!
- (あずま) はいっ、よろこんで!!
- (防災部長) 自治会に新しい風が入ってきたな。



- (語り) あずまちゃんの生活はまだまだ続きますが、生活の中には沢山のジェンダー・バイアスが溶け込んでいましたね。ジェンダーに敏感な視点で日常を見てください。そして、気づきを周りに知らせてください。男女がお互いにその人の人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会が、男女共同参画社会です。



■ 婚活事業

甲府市男女共同参画プラン基本目標V「男女支えあう家庭づくり」の施策として、出会いを求めている男女のためのプロジェクトを発足、推進委員おせっかい事業が始まりました。

第1回 「スポーツ観戦で#ラブ育」

日 時：平成30年10月28日（日）11:00～18:30

会 場：山梨中銀スタジアム

J2リーグ第39節ヴァンフォーレ甲府VSカマタマーレ讃岐

参加者：男性13名、女性11名

対象者：市内在住、又は在勤でスポーツ観戦好きな25～40歳の未婚男女

参加費：2,000円

内 容：①スタジアム探検ツアー ②ビュッフェランチ（ハロウィンスイーツ作り）
③選手ハイタッチ&ピッチ内アップ見学 ④試合観戦



～参加者の声～

- ・スポーツ観戦しながら楽しめたので良かったです。
- ・選手とハイタッチが出来て良かったです。
- ・スタジアムツアーや普段できない経験なのでとても楽しかったです！
- ・司会進行が和やかなムードで気持ちがすぐほぐれて良かったです。
- ・スタッフの方々が良い空気を作ってくれました。
- ・初めての婚活イベントの参加でしたが楽しく過ごせました。

第2回 「ワイワイLOVEワイン#ラブ育」

日 時：平成31年1月12日（土）10:00～17:00

会 場：山梨大学ワイン科学研究センター、甲府市総合市民会館、
サドヤワイナリー

参加者：男性13名、女性9名

対象者：市内在住、又は在勤で当日ワインが飲める25～45歳の未婚男女

参加費：2,000円

内 容：①ワインセミナー（講師：柳田藤寿山梨大学教授教授） ②イチゴを使ってデザート作り
③サドヤワイナリー見学 ④試飲&交流



～参加者の声～

- ・甲府ならではのワインづくりや歴史を知ることができて、試飲やデザートづくりができたのが良かったです。
- ・ワイン、料理、パフェがとても美味しかったです。
- ・お酒が飲めて、打ち解けるのが早かったです。
- ・ワインを飲みながらの交流のため、普段より話げができました。いろいろ見学ができて良かったです。
- ・美味しいものをテーマにしたイベントは今後も開催してほしいです。

第3回 「オトナの婚活 in ベルクラシック甲府」

日 時：令和元年8月4日(日) 9:00～15:30

会 場：ベルクラシック甲府

参加者：男性18名、女性19名

対象者：30～45歳の独身男女

参加費：3,000円

内 容：①レクリエーション②ランチビュッフェ ③チャペル&庭園
(フリー交流)



～参加者の声～

- ・出会いが広がりました。ありがとうございました。
- ・良い経験ができました。なかなか参加する機会がなかったので面白かったです。
- ・料理が美味しかったです。せっかくの機会が活かせずすみません。またお願いします。
- ・婚活イベントはプロの業者でも難しいので、大変だと思いますが、また開催してください。
- ・男女共同参画の活動に興味を持ちました。知ることができて良かったです。

第4回 「オトナの婚活 in 東光寺」

日 時：令和元年11月10日(日) 10:00～14:30

会 場：東光寺

参加者：男性10名、女性9名

対象者：30～45歳の独身男女

参加費：3,000円

内 容：①座禅・レクリエーション等 ②ランチ
③フリー交流(抹茶体験・御朱印巡り・庭園散策)



～参加者の声～

- ・落ち着いた感じで過ごせて楽しかった。
- ・貴重な時間をいただき良かった。
- ・食事の際にテーブルを回って話ができただけ良かった。
- ・ロケーションがよく、スタッフのきめ細やかな対応も良かった。
- ・イベントが盛り沢山で、とても良かった。
- ・また参加したい。
- ・少人数で良かった。

〔推進委員の報告〕

今期(H30～R1年)初めての事業として、甲府市男女共同参画推進委員会の中に「婚活プロジェクト」チームを作り、チームが中心となり企画等を行い2年間で4回のイベントを実施しました。出会いの機会を求めている男女を募集し、チームとしても「きっかけ作り」のお手伝いを楽しくさせていただきました。回を重ねる毎に多くの意見・アイデアも生まれ、推進委員自ら講師となり体験型のイベントも行われました。毎回参加者からは、イベントについて「良かった」「楽しかった」との感想も多く聞かれ、イベントに関わった事が良い経験となりました。また、課題として参加者の募集方法など、検討が必要だと感じました。



企画運営部会

- リーダー 矢崎真由美
サブリーダー 阿部 誠・小澤 房子
メンバー 小川はるみ・佐々木 茂
内藤平八郎・広瀬 一美
藤原 一三・前田さとみ
山崎 明子



矢崎 真由美

2年間を振り返り、第6期推進委員会のメンバーとして活動できたこと、そして企画運営部会のリーダーとして活動させていただいたことに大変感謝しています。

企画運営部会は、メンバー一人ひとりが活動に関心を持ち、活発な意見交換等を通じてお互いを高め合ってきました。その中で多くの気づきを得ました。今後の課題も見つかりました。チームワークの素晴らしさを実感できた部会でした。

これからも男女共同参画社会の実現に向けて関心を持ち続け、ささやかでもできることを行いたいです。ありがとうございました。

阿部 誠

私は5期から大里地区からの推薦を受け推進委員会で活動をはじめました。これまでも、月の半分は様々なボランティア活動を行っていましたが、男女共同参画推進委員会での活動を通し、性別等で役割を決めつけるのではなく、人として平等に参画していく姿勢が大切であるということを学びました。6期に入りまして事故に遭遇し、施設に入所しましたので活動に参加出来なくなりましたが、これまでに培った経験を、施設長をはじめスタッフの皆様が理解して下さり、施設内や、図書館等での朗読（読み聞かせ）の場をつくって頂ける事となり、大変嬉しく思うと共に、身体は不自由になり生活環境も一変しましたが、おかれた場で咲くこともできるのだと強く感じております。個人的な思い出あるのですが、過日、ペシャワール会の中村哲医師が銃撃され、お亡くなりになりました。アフガニスタンで長年、人道支援に取り組んでこられ、武力ではなく、貧困の解消によって平和な暮らしを取り戻すという信念のもと、「緑の大地計画」に汗をかき、水路を通しておられた氏の尊き姿に手を合わす私であります。

小澤 房子

女性活躍推進法が進むにつれて、女性の社会進出が多くなった最近ですが、男女の格差はまだまだ思うようには進んでいないのが現状ではないでしょうか。どこまでが女性のすべき役割なのか男性の役割なのか、疑問に思うところが多々あります。数字で表すことのできない現実、少しずつ前に進み理解し合うことが大切だと感じています。皆さまと仲良く楽しく勉強させていただき、ありがとうございました。

小川 はるみ

気がついてみると平成20年（2008年）の甲府市男女共同参画推進委員会発足当時から唯一の委員に成りました。

この間、様々な学習や発表の機会を与えられ、委員として成長させていただいたことを感謝いたします。楽しい思い出もたくさんありました。

今後も、男女共同参画社会の実現を目標に一市民として関わり続けていきます。

ありがとうございました。

佐々木 茂

日本のジェンダーギャップ指数が先進国の中でもかなり低い位置にあることを知り、自らのあり方についても考えさせられました。2年間、いろいろな方のお話を伺い、多くのことを学ばせていただく中で、少しではありますが視野が広がった気がします。こうした経験が無駄にしないよう、日常生活の中で「男女が共にいる風景」の実現を目指し、行動できたらと考えています。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。

内藤 平八郎

ある時、地区連合自治会長から「男女共同参画推進委員」になってくれと依頼されました。何も知らないまま前任者からの引き継ぎもないまま簡単に引き受けました。

国母地区にあっては、奇数月に各種団体長会議があり、その席上報告の機会が得られました。選ばれし30名と2年間の活動を共にし、70歳を過ぎた私に仲間ができたことは嬉しいことと思います。定例会や諸活動を通し、日本にあってこの活動が実を結ぶのは相当の時間が必要と感じました。執行部役員ならびに市職員に感謝申し上げます。

藤原 一三

自治会連合会推薦での初参加です。第一回定例会冒頭での自己紹介で、いつもと違う席にきてしまったと思わず口から出てしまいました。女性委員が次から次へと自信を持って挨拶するのを目の当たりにし、圧倒されてしまったからです。それ以降色々な行事やイベント等に参加する度に自分が進化して行くのを感じました。視野が広がり、物の見方が変わり、今では喜びを感じて参加させてもらっています。

前田 さとみ

「男女共同参画」名前は聞いたことがありましたが、どんな活動をしているのか？男性も女性も自分らしく生きる社会、絆、気づき、学び、和、改めて考える機会を与えていただいた2年間、今後も社会の中（地域）で活かせたらと思っています。

山崎 明子

推進委員として様々な活動に参加し、たくさんのことを学び経験することができました。私が働いていた時は、男性優位社会でしたが男女雇用機会均等法により男女は平等で、一人ひとりが生き生き活躍できる社会になってきていますが、男女共にそれぞれの特性を生かし支え合える社会になればと思います。活動を通じ他地区からの推進委員の方と交流できましたことは私自身にとりましてとても勉強になりました。

イベント部会

リーダー 酒井 大介
サブリーダー 小林 清巳
メンバー 石川 政子・尾崎美知子
河野 文彦・廣野 映子
藤本千恵子・柳本タカ子
山田千恵美



酒井 大介

第5期の推進委員としての学びから、男女共同参画は、持続可能な社会の必須条件である「少子化の打破」に有効なワークライフバランスを支える重要な柱であると考え、その意識を持って第6期の活動に取り組みました。啓発活動を通して感じたのは「男女共同参画の推進」は「伝統的価値観」と相容れないという誤解の根深さで、まだまだ「性差別の解消」と「性差の否定」が混同されていますが、「性差別の解消」には「性差の理解」が不可欠です。見解の違いは、否定や対立ではなく理解や協調によって解消へ向かうと信じて、今後も粘り強く啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。

小林 清巳

推進活動を通して様々な体験をさせていただきました。啓発活動を通して学んだ事や、気づきを大切にしていきたいと思います。男女共同参画社会が前進する事を願っています。

石川 政子

何もわからないままお受けしました。結婚を機に専業主婦だったので、イベント部会の皆様に教えて頂きながら2年間過ごして参りました。一番印象に残っているのはフォーラム2019での上野千鶴子先生のお話でした。主人も聞きに来て、ほんとうに良かったと言っていました。これから少しでも、男女平等の世の中になってほしいと願っております。

尾崎 美智子

男女共同参画推進委員をと自治会から推薦されて本当に何の知識もなく解らないまま1年が過ぎました。イベント部会としてパンフレット配布やパネル展、初めてNWECに参加して少しずつ意味を理解できるようになりました。

2年目に入り、イベント部会の皆さんと仲良くさせて頂き、活動も楽しく参加出来るようになりました。これからも男女平等になれるように啓発活動を出来たらと思っております。

河野 文彦

「男女平等」の意識は、だいぶ浸透してきていると感じていますが、一部には課題などがあり、その課題にどのような取り組みが必要かのヒントを頂いたと感じています。今後は、できる限り様々な機会を捉えて一人ひとりの人格の尊重をはじめ「区別」は必要、「差別」は厳禁ということを周囲に伝えたいと思っています。2年間のご指導に感謝申し上げます。

廣野 映子

おこがましい役かとは思いましたが、自治会から推薦を頂き2期務めさせて頂いております。1期目は男女共同参画って何？

無関心だった私が活動の意義とその重要性を理解でき関わったのは2期目からでした。

そして近頃は「物事のすべての場面で男女がそれぞれの特性を生かし支え合う風景」の大切さを想像しながらの啓発活動は楽しくやりがいを感じています。今後は地域の中でこの経験を活かしたいと思っております。

藤本 千恵子

2期4年間推進委員として様々なイベントに参加、活動して、何も分からずにいた私にとっては、とても良い学習をさせていただきました。DV防止、パープルリボン運動、ジェンダー、互いに理解し合い尊重が大切な事だと思えます。ありがとうございました。

柳本 タカ子

どんな活動をしているのかも解らないまま、推進委員として参加させていただいた2年間で、あっという間に終わろうとしています。

甲府駅前での街頭啓発活動・甲府大好きまつりでのアンケートの呼びこみ、フォーラムとどれも初めての経験でしたが、先輩の方々のご指導の下に後について行っただけのような気がしています。しかし回を重ねるごとに新たな学びと感動も覚えました。心の痛む事件等多いこの時期に、この貴重な経験をどこかで生かせる事ができたらよいなーと思っています。

山田 千恵美

第6期の推進委員として色々な活動に参加し部会で話し合ったりすることで知識や理解を深めていくことができました。

男性中心の古い考え方から、老若男女すべての人々が自分の個性や能力を発揮できお互いに尊重し合える社会に変わっていくために男女共同参画の普及に貢献でき良かったと思います。

広報編集部会

- リーダー 中村 京子
サブリーダー 五味 明美
メンバー 井尻真理子・菊嶋 慶彦
久保田美津子・清水 正
神宮寺ヒロミ・前嶋枝美子
米山夫佐子



中村 京子

第5期に続いて第6期も甲府市男女共同参画推進委員として活動できたことを幸せに思います。第6期活動の中で一番強く印象に残っているのは、2021年の日本女性会議の甲府市開催が決まったことです。2017年の日本女性会議が苫小牧で行われた際に、苫小牧の地元の皆さんがしっかり手を携えて、全ての人が幸福に暮らせる社会を目指した活動をなさっているのに感動し、甲府での開催も是非と願いました。2018年秋に甲府での開催決定が発表されたときは本当に嬉しかったです。2021年の日本女性会議 in 甲府を一つの機会として、甲府市が益々多くの方が幸せを感じられる市になって行く一助となれるよう、心がけて行きたいと思います。

五味 明美

問題意識がなければ疑問に思わない多くの事に、少し立ち止まり考える機会を持てた推進委員活動でした。きっと一人ひとりが少し見方・考え方をかえるだけで、住み良い社会に向かうのだと思います。

「男女共同参画社会」目指す課題は多く難しいと思いますが、学習した事を少しずつでも伝えて行ければと思います。

また2期4年活動させていただく中で、各方面で活躍されている委員さん達との活動は推進活動以外にも得る事が多くあり、刺激になりました。

井尻 真理子

私は一会社員です。ヴァンフォーレ甲府という地元のサッカーチームで働いています。ヴァンフォーレ甲府も、甲府市男女共同参画推進委員も、甲府市や甲府市民が良くなるように活動をしています。歩く道は違えど、目標は重なる部分があります。ヴァンフォーレ甲府の仕事一辺倒ではなく、男女共同参画活動もさせていただくことによって、自分の幅が広がったような気がします。色々な講座で学ばせていただいたり、たくさんの素敵な縁をいただきました。心から感謝しています。

菊嶋 慶彦

今回、多くの講師の先生の話聞いて、「男女共同参画」は、憲法、人権の問題で一人一人が強く権利を主張しなければ変わらないと思いました。今の若い人は、ほとんどの場面で女性が主導権を持っています。民間でも多くの会社では女性が活躍しています。遅れているのは、地域社会や女性が少ない政治の世界だと思います。このことをどうしたら変えることができるか、みんなで考えていければと思います。

久保田 美津子

用語、使う場面、課題となるもの等々毎回新しい事の出会いの2年間でした。毎回、地域住民一人一人に男女共同参画の視点で考えてもらう機会をどう作っていけば良いのか?自分の年代とは変わってきている現状、生活形態を見据えた上でどう進めていけば良いのか?いろいろな情報を提案できるのか頭の中に入れて活動に臨んだつもりですが、研修等で学んで、納得したのも瞬間になってしまい、結果として、一人ではこれから先については見いだすことができませんでした。仲間として、認めてもらえるまでの関係を築く事は出来ませんでした。一人一人が課題を持ち、熱く生き生きと活動しているのを感じることができた有意義な時間でした。

清水 正

定例会での学習や甲府駅前街頭のチラシ配布・甲府大好きまつり等の啓発活動へ参加することにより、男女共同参画について学ぶことのできた2年間でした。新聞やテレビの関連する記事には自然と目が向くようになりました。NWECぴゅあ総合フェスタ等での紙芝居への参加もいい経験になりました。男性も女性も関係なく活躍できる社会の実現のためには、家庭においては夫の、職場においては上司や同僚の、理解や協力が大切だと思います。これからも推進委員として学んだことを心に留めて行動していきたいと思っています。

神宮寺 ヒロミ

具体的に何をするか知らぬまま引き受けてしまい、自分に務まるかしらととても不安でしたが、全ての人が幸せに、生きやすい社会の実現をめざすという活動らしいと知り、日頃から活動しているとても大切なことなので、嬉しくまた安心しました。2015年国連決議の“17のこと”循環型社会の重要さ等を学べたのは大きな財産でした。良い経験を今度は家庭や地域に広めて行きたいと思っています。

前嶋 枝美子

男女共同参画と言う未知の活動に2年間携わらせて戴きました。現役生活を公私ともに卒業している私が過去から未来に向けて望む事と現役世代が望む社会構造の在りかたには差こそあれ思いは同じであると確信。身の回りにおとせば幼児教育時代から両性(トランスジェンダーも含めて)を尊重し互いの特性を理解しあう日々の生活の中にこそ生まれるものであると改めて思いました。地域社会にこの活動が根をはり誰もが生き生きとされる社会になるよう努力したいと思います。

米山 夫佐子

何かお役に立てればとお引き受けした私でしたが、最初は新しい時代の流れやジェンダー、SDGsなどの慣れない言葉に戸惑うばかりでした。定例会や街頭啓発活動、NWEC、パネル展、甲府市男女共同参画フォーラム等々の活動に参加することで、少しずつ理解してきました。いつの時代でも、男女がともに支え合い人格を尊重した温かい地域づくり、家庭づくりは、大切なことです。今回の経験を地域社会に活かして行きたいと思っています。

第6期 甲府市男女共同参画推進委員会委員名簿

(五十音順・敬称略)

No.	氏 名	所属団体等	No.	氏 名	所属団体等
1	阿 部 誠 <small>あ べ まこと</small>	大里自治連	16	清 水 正 <small>し みず ただし</small>	北新自治連
2	天 野 光 江 <small>あま の みつ え</small>	玉諸自治連	17	神宮寺 ヒロミ <small>じんぐうじ</small>	公 募
3	石 川 政 子 <small>いし がわ まさ こ</small>	羽黒自治連	18	内 藤 平八郎 <small>ないとう へいはちろう</small>	国母自治連
4	井 尻 真理子 <small>い じり まりこ</small>	新紺屋自治連	19	中 村 京 子 <small>なか むら みや こ</small>	朝日自治連
5	小 川 はるみ <small>お がわ</small>	公 募	20	広 瀬 かず み美 <small>ひろ せ</small>	公 募
6	尾 崎 美知子 <small>お ざき みちこ</small>	相川自治連	21	廣 の 映 子 <small>ひろ の てる こ</small>	里垣自治連
7	小 澤 房 子 <small>お ざわ ふう こ</small>	商工会議所	22	藤 原 一 三 <small>ふじ はら いち ぞう</small>	穴切自治連
8	小田切 進 <small>お たぎり すずむ</small>	東自治連	23	藤 本 千恵子 <small>ふじ もと ちえこ</small>	相生自治連
9	菊 嶋 慶 彦 <small>きく しま よし ひこ</small>	湯田自治連	24	前 嶋 枝美子 <small>まえ じま えみ こ</small>	貢川自治連
10	久保田 美津子 <small>くぼ た みつ こ</small>	中道自治連	25	前 田 さとみ <small>まえ た</small>	千代田自治連
11	河 野 文 彦 <small>こう の ふみ ひこ</small>	池田自治連	26	矢 崎 真由美 <small>や ざき まゆ み</small>	商工会議所
12	小 林 清 巳 <small>こ ばやし きよ み</small>	住吉自治連	27	柳 本 タカ子 <small>やなぎ もと たか こ</small>	女性団体
13	五 味 明 美 <small>ご み あけ み</small>	山城自治連	28	山 崎 明 子 <small>やま さき あき こ</small>	琢美自治連
14	酒 井 大 介 <small>さか い だい すけ</small>	公 募	29	山 田 千恵美 <small>やま た ちえみ</small>	春日自治連
15	佐々木 茂 <small>ささき しげる</small>	甲運自治連	30	米 山 夫佐子 <small>よね やま ふさこ</small>	女性団体

編集後記

第6期の活動報告書の作成を通してこの2年間の活動を振り返ると、甲府市での日本女性会議誘致から開催決定までの様々な活動や、婚活プロジェクト、ジェンダーバイアスに気付いて貰う新たな物語作り、そして一般市民向け出前講座の実現など、改めて大きな成果のあった2年間だと感じました。現実はまだまだ女性が大きな負担を抱えながら苦勞する場面がありますが、その現実に気づき1人でも多くの人が声を上げて行けるように、男女共同参画社会の実現を目指して行きたいと感じます。

第6期 甲府市男女共同参画推進委員会 活動報告書

令和2年3月発行

編集・発行 甲府市男女共同参画推進委員会
事務局 甲府市市民部人権男女参画課

甲府市相生2丁目17-1
電話 055-237-5209

裏表紙：なとりしゅうか名取咲華(書家)師範・徽墨会会員
書家 石原美歩先生に師事

「未来を拓く 主役は私」甲府市男女共同参画フォーラムテーマ

未来を拓く
主役は私

